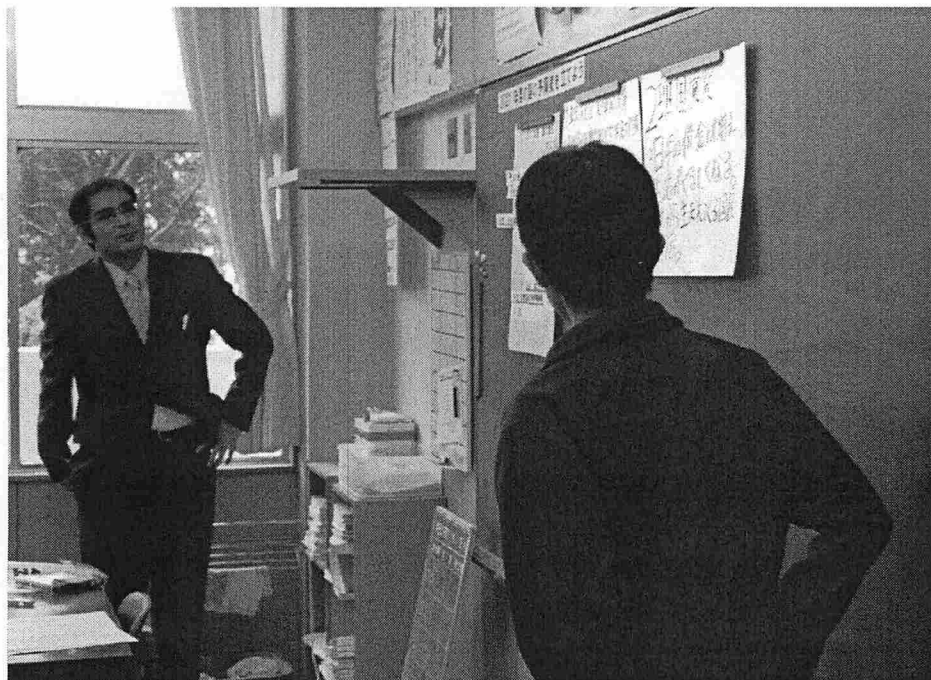


《教員のための金融教育セミナー資料》

平成 22・23 年度新潟県金融広報委員会指定「金融教育研究校」

# 研究のまとめ



佐渡市立佐和田中学校

## 【研究の概要】

### 1 研究主題

確かな金銭感覚を身に付け、「現在」と「未来」を豊かに生きようとする生徒の育成

### 2 キャリア教育と金融教育

「金融教育ガイドブック」によれば金融教育の内容は次の4つの分野となる。

- A. 生活設計・家計管理に関する分野
- B. 経済や金融のしくみに関する分野
- C. 消費生活・金融トラブル防止に関する分野
- D. キャリア教育に関する分野

なかでもキャリア教育に関する分野は「働く意義と職業選択」「生きる意欲と活力」「社会への感謝と貢献」など、当校のキャリア教育を中核に据えた教育活動に重なる部分が多い。したがって、将来の生き方を考えるという視点のもと、「現在」と「未来」を豊かに生きようとする生徒を育成するという研究主題を設定した。

### 3 平成22年度～23年度の活動項目

平成22年度（◇職員研修、○総合的な学習の時間、☆各教科）

- 4月 ◇キャリア教育を金融教育に位置付け、全教育活動を通して進めていく指導の共通認識を図る。
- 7月 ○キャリアセミナー（全学年）
- 8月 ○職場体験（2年）
- 9月 ○社会貢献活動（3年）  
☆食品の選択と調理（1年家庭科）
- 10月 ○職場見学（1年）
- 11月 ☆私たちの暮らしと経済（3年社会科・公民）
- 1月 ○夢作文の作成（2・3年）  
☆私たちと家庭生活「家庭のはたらき」3年家庭科
- 2月 ☆私たちと消費生活「トラブルの解決」2年家庭科

平成23年度（◇職員研修、○総合的な学習の時間、☆各教科）

- 4月 ◇キャリア教育の年間計画に金銭感覚を身に付ける学習を位置付ける。  
◇教育活動全体が調和を保ち、互いが補完し、充実・進化する指導の共通認識を図る
- 5月 ☆身近な消費生活と環境「商品の選択と購入」（1年家庭科）（5/25）
- 6月 ○ケータイ安全教室（全学年）（6/23）
- 7月 ○キャリアセミナー（全学年）（7/15）  
○金融教育標語の応募（全学年）
- 8月 ○職場体験（2年）  
◇金融教育研究協議会に向けて（8/4）  
◇社会科授業の構想検討会（8/23）
- 9月 ○社会貢献活動（3年）  
☆お金の使い方を学ぼう（1年学活）（9/15）  
◇社会科授業検討会

- 10月 ☆世の中のお金の流れ（特別支援生活）（10/18）  
○1年職場体験（10/25）  
◇社会科授業検討会
- 11月 ☆私たちの暮らしと経済（3年社会科・公民）（11/30 金融教育研究協議会）
- 12月 ☆私の家庭生活「家庭のはたらき」（3年家庭科）  
☆貯蓄と計画活用（全学年学活）
- 1月 ○夢作文の作成（3年）
- 2月 ☆私たちと消費生活「トラブルの解決」2年家庭科

#### 4 各教科・領域での実践内容

##### (1) 総合的な学習の時間

###### ア 全学年

- 題材 「キャリアセミナー」
- 金融教育でのねらい
  - ・ 働くことの社会的意義や就労意識、職業選択に向けて色々な職業の人から直接話を聞いて職業の実態を知ることにより、生徒の職業観を広げ、生き方指導の一環として進路指導の充実を図る。
  - ・ 夢や願いを実現させるには、努力や知識、技術の蓄積や活用が必要であることを理解する。
  - ・ 人は様々なつながりによって支えられていることを理解し、社会に貢献する態度を養う。
- 内容
  - ・ 全体会《講師自己紹介》
  - ・ 分科会《講師による講話・実演・14コース》
    - ・ 1 パティシエ、2 芸人、3 保育士、4 漫画家、5 看護師、6 美容師、7 介護福祉士、8 アナウンサー、9 警察官、10 自衛官、11 船長・ジェットfoil操縦士、12 ホテル業、13 水産加工業、14 銀行
    - ・ これまでの人生経験を踏まえ、生き方を語ってもらう。
    - ・ 仕事内容、仕事の喜びや苦勞、その仕事に就いた理由、必要な資格や心構えなど。

###### イ 1年

- 題材 「職場見学・体験」
- 金融教育でのねらい
  - ・ 働く体験を通して、働くことの楽しさや大変さを体得し、将来どのような職業につきたいかを主体的に考える態度を身に付ける。
- 内容
  - ・ 3年間の総合的な学習の時間の流れと進路学習の流れについて知り、生き方を学ぶことを理解する。
  - ・ 学ぶことと働くことの意義を考える。
  - ・ 自分の性格の特徴を知り、職業的な興味適性について分析する。（エコグラム）
  - ・ 自分の興味関心のある職業について調べ学習を行う。
  - ・ キャリアセミナーに参加し、職業や生き方について学ぶ。
  - ・ 興味関心のある職場を決め、体験に向けての学習を行う。（体験先との交渉、質問事項、行程調べなど）

- ・ 職場体験
- ・ レポートまとめ、発表会を行い、情報の共有化を図る。

## ウ 2年

- 題材 「職場体験」
- 金融教育でのねらい
  - ・ 働く体験を通して社会と触れ合い、職業や働くことについての意識を深め、自分の将来の生き方や生きがいについて考え、現在を大切に生きる態度を養う。
- 内容
  - ・ 総合的な学習の時間及び進路学習の流れについて知り、「1 自分を知る」「2 社会を知る」「3 将来の生き方を考える」に沿って取り組む。
  - ・ 職業に関するビデオを視聴し、働くことの意義や職業選択の方法、生きがいについて考える。
  - ・ 自己理解をする方法として、エコグラムやレディネステスト等を用い、性格や職業適性について自己分析を行う。
  - ・ 自分の興味関心のある職業について、調べ学習を行う。
  - ・ キャリアセミナーに参加し、職業や生き方について学ぶ。
  - ・ 興味関心のある職場を決め、職場体験に向けての学習・準備を行う。
  - ・ 職場体験（校区内・近辺の事業所：23か所へ、夏季休業中3日間実施）
  - ・ 個人及び班でレポートをまとめ、発表会を行い、情報の共有化を図る。

## エ 3年

- 題材 「社会貢献活動」
- 金融教育でのねらい
  - ・ 社会貢献活動の体験を通して、よりよい社会を築くために自分が何をして行くべきかを考えるとともに、実践する態度を身に付ける。
- 内容
  - ・ 社会貢献活動の目的を確認し、体験先の希望調査を行う。
  - ・ 福祉についてのビデオを視聴し理解を深める。（介護福祉士、ホームヘルパー）
  - ・ 活動別に事前指導を行う。心構え、注意事項、代表生徒決定、個人目標の設定など。
  - ・ 社会貢献活動（午前の時間帯で2回実施）
  - ・ 1回目終了後、2回目の事前準備活動を行う。（レクや出し物の企画準備等）
  - ・ 活動報告のまとめや活動の報告、礼状の作成を行う。
  - ・ 主な体験先《高齢者介護施設・ホームヘルパー同行・知的障害者福祉施設等》

## (2) 家庭科

- 題材 「商品の選択と購入」（1年）
- 金融教育でのねらい
  - ・ 消費者として適切な商品選択のために表示などを活用する能力を身に付ける。
- 内容
  - ・ 自分が必要としている商品を選ぶときに、何を基準に選ぶか考える。
  - ・ 4種類のポテトチップスの中でどれを食べたいかとその理由を発表する。
  - ・ 4種類のポテトチップスを食べ比べ、選択基準の一つである塩分量について調べる。（塩分量の計算）

- ・ ポテトチップスの表示からわかることや疑問点をまとめ、発表する。
- ・ 表示には商品の特徴を知らせる情報が入っているが、間違いやすい表示もあるので、適切に判断し、選択することの大切さに気付かせる。
- ・ 表示を変えさせた消費者の例から、責任ある消費者の行動についても理解させる。

### (3) 数学科

- 題材 「利息について考えよう」(3年)
- 金融教育でのねらい
  - ・ 金利についての知識を身に付け、人生設計に生かそうとする態度を養う。
- 内容
  - ・ 利息の意味と計算の仕方を知る。
  - ・ 月7%の利息で2万円を借りるときの支払額を1か月ごとに12か月後まで単利の場合と複利の場合について計算し、表にまとめる。
  - ・ 表をもとに、グラフをかき、単利と複利の支払額の比較をする。
  - ・ 利率を変えたり、借入期間を36か月までのばしたりすると、支払金額がどう変化するか、予想を立てた後グラフから読み取る。
  - ・ お金を借りるときは、冷静な判断と理解が必要であることに気付く。

### (4) 学活

- 題材 「未来予測図を描こう」(1年)
- 金融教育でのねらい
  - ・ 金銭に関わる価値の比較と判断力を育てる。
  - ・ 自分の生活において何を重要にするかを考えることができるようにする。
- 内容
  - ・ 「月収16万円で一人暮らしをする」という生活設計をたてる。
  - ・ 衣、食、住について、どのような生活をするかを選択する。
  - ・ 「すごろく」を使って1か月の生活シミュレーションをする。
  - ・ 1ヶ月の生活で使ったお金を計算する。
  - ・ 自分の生活設計を振り返り、改善計画をたてる。

### (5) 特別支援教育

- 題材 生活科 「生活に必要な技能を養う買い物学習の実践」(1年)
- 金融教育でのねらい
  - ・ 金銭の大小関係や両替の方法を定着させ、買い物ごっこを通じ、より実践的に買い物の技術を身につけさせる。
- 内容
  - ・ お金の種類と両替の仕方の確認。
  - ・ 買い物についての文章題を解き、おつりの計算方法を確認する。
  - ・ 実際に模擬商店でお使いをしてみよう。(応用)(カードの指示に従いお使いを行う。)
  - ・ 模擬商店でお使いをしてみよう。(発展)
  - ・ (カードの指示に従い、広告を使って自分で商品の値段を調べお使いを行う。)
  - ・ 模擬商店でのお使いをしてみよう。(活用)
  - ・ (口頭で伝えられたカードの指示を自分でメモを取り、お使いをする。)